

XTRATUF®

オレンジのウェイダーの下にはかならず茶色の足先が見える
これがベーリング海の定番スタイル
極寒の寒さ、冷たい塩水、激しく揺れる甲板での過酷な労働にも耐えうるタフさ
アラスカンスニーカーと呼ばれ愛されることが、信頼の証

1950年代にイリノイ州・ロックアイランドの工場で誕生したXTRATUF(エクストラタフは、本格的なフィッシャーマンブーツとして漁師に向けてデザインされました。

シェブロンアウトソールの高いグリップ力は、濡れた甲板の上でその性能を発揮し、ネオプレンライニングのラバーアッパーは、魚の油が内部に浸透することを防ぎ多くの漁師に愛用されました。

その後、アラスカのカニ漁やサーモン漁をする多くの漁師に愛用されるようになり、いつしか『アラスカンスニーカー』と呼ばれるようになり、アラスカに住む多くの人々の日常から漁に至るまで愛用される様になりました。

2008年、ハニーウェル社(日本ではハネウェル社と呼ばれている)にオーナーシップが移譲。

2011年、それまでロックアイランドで続けられていた生産を中止し、生産拠点をアメリカから中国の工場に移します。

残念ながらその直後の製品クオリティーが下がってしまい、多くの漁師から苦情を受け、彼らはこのブランドから離れていきました。

アメリカのフィッシャーマンの道具に対する基準はとて厳しく、それに答えるべく改良を重ね、その後ようやく以前と同様の評価を得ることが出来ました。

そして今では改めて『アラスカンスニーカー』と呼ばれ、多くのアラスカの人々が使用する日常靴に返り咲いたのです。

現在は、ハニーウェル社のもとで本格的な漁師用ブーツから、ファンフィッシングやカジュアルシューズまで幅広い製品を生産しています。